

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.8)

## 豊田市PCB処理安全監視委員会による現場視察

11月26日(金)に、豊田市PCB処理安全監視委員会(中村副委員長はじめ11名)が、日本環境安全事業(JESCO)の豊田PCB廃棄物処理事業の建設現場を視察されました。

当日は、5階までの鉄骨が組み上がり、6階の床が施工中でしたので、1階のトランスとコンデンサの解体エリア及び2階の受入エリアをご覧ください。

1階の解体エリアでは、ステンレス床の敷設状況と接合部の真空引き検査、各種解体設備とオイルパン、遮蔽フードの設置状況など、2階の受入エリアでは、耐震構造や受入の方法などを説明させていただきました。特にPCBの管理区域レベルの違いによる負圧管理について熱心に質問されました。



解体ライン、遮蔽フードの説明



トランス解体設備の見学

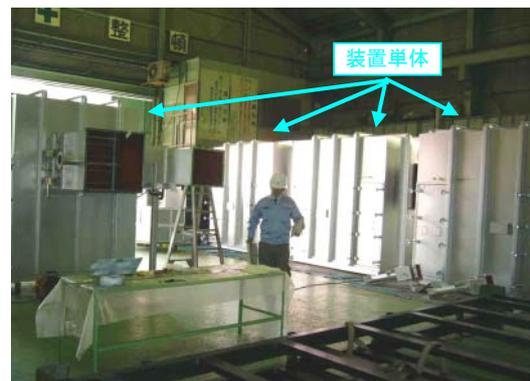
## 活性炭吸着装置の工場検査立会

豊田PCB廃棄物処理施設は、豊田市の受入条件によりPCB処理に伴う排ガスは発生しないシステムとなっています。

しかし、装置内の空気や窒素、作業場の換気などについては排出しますので、これらの排気を6系統に分け、各系統にふさわしい排気処理装置で浄化し、更に、セーフティネットとして二段の活性炭吸着装置を通して排出します。

セーフティネットとは、通常の場合は必要のないものですが、排気処理装置などの安全対策設備が万一の事故や故障が発生した時でも、周辺環境に影響を及ぼさないためのシステムです。

なお、11月4日に、大阪府松原市の製作工場で行われた装置排気及び局所排気系の装置の検査には、JESCOの職員が立ち会って確認しました。



装置の外観



活性炭カートリッジ



装置内部のカートリッジ組立状況

## 受入計画及び受入基準の承認

豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設に係る受入基準及び受入計画について、11月26日に豊田市の承認をいただき、日本環境安全事業(株)のホームページで公表しています。

この受入基準とは、搬入者が豊田処理施設にPCB廃棄物を搬入しようとする際に遵守していただくかなければならない基準で、搬入者や受入の対象物、運搬容器、運搬車両、GPSシステムの搭載、収集運搬作業者の教育・訓練、収集運搬の安全の確保、搬入経路と時間帯などを定めているものです。

また、受入計画とは、PCB廃棄物の受入開始時期、計画的な受入、受入見込み量等を定めているものです。

## 工事の状況 4階・5階の鉄骨を完了し、6階床コンクリートを打設

10月28日より4階・5階の鉄骨の建方を完了し、PCBを分解処理する液処理エリア(6階)の床コンクリートの打設を開始しました。

床コンクリート打設後、機械基礎コンクリートを打設し12月より液処理設備機器の据付及び6階・7階の鉄骨建方を開始していきます。

機器据付及び6階7階鉄骨工事は来年1月中旬に完了し、屋上コンクリートを打設後、配管・電気計装工事を行う予定です。



5階までの鉄骨建方を完了

### 今月の工事予定

- 12月初旬～ 処理エリア:液処理設備機器据付開始、1～3階ダクト配管電気工事  
外壁ALCパネル設置及び6・7階鉄骨建方開始
- 12月中旬～ 処理エリア:液処理設備機器据付、5階排気処理設備据付  
管理エリア:鉄骨建方開始



### 施工者から一言

11月は、4階前処理設備機器の据付が完了し、5階までの鉄骨の建方を完了しました。1階では、天井裏のダクト・配管及び消火・給排水衛生設備配管の設置を行いながら、前処理設備機器エリアの遮蔽フードパネルの設置を行っています。また、外壁ALCパネルの設置工事にも着手しました。

工事着手以来、作業員の延べ人数2万人、無災害労働時間16万時間を超えました。これも、入場している作業員一人一人の安全作業の結果であります。防災協議会、工事安全大会は毎月開催していますが、階層毎に異なる作業間の連絡調整を日々行って安全作業を進めてまいります。宜しくお願い致します。



12月1日の工事安全大会

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体  
代表者 : 株式会社クボタ  
構成員 : 株式会社神鋼環境ソリューション

### 連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)  
(連絡先) 豊田事業所 0565-37-7226